

BERテストソリューション / アンリツ株式会社

光インタフェースに対応した
拡張可能な小型BERテストツール

バックボーンの高速化に伴い、伝送装置に実装される光トランシーバモジュールやデバイスの開発が盛んに行われ、さまざまなビットレート、信号を送受信しその波形を評価できるBER測定器のニーズが高まっている。



インターネットの普及と伝送容量の増大により、バックボーンの伝送速度が2.5Gbit/s、10Gbit/sと高速化し、近年では40Gbit/sの伝送システムも商用化され始めている。これに伴い、伝送装置のデータ転送速度の高速化を可能とする光トランシーバモジュールやデバイスの研究、開発が盛んに行われ、さまざまなビットレート、信号レベル、パターンを送受信しその波形を評価できるBER測定器のニーズが高まっている。

アンリツが新たに開発したMP1800シリーズは、小型で柔軟なシステム構成が可能で、12.5Gbit/sまでのBER試験が可能である。XFP、SFP、PON-OLTなど光トランシーバモジュールやデバイス、バックプレーン試験に最適である。さらに2台のMP1800Aに対応しMUX/DEMUX、シンセサイザーを組み合わせて使用することで、最高50Gbit/sまでのBER試験が行える。

モジュール形式を採用した
フレキシブルな機能構成

MP1800シリーズはプラグインユニット

形式を採用した。6種類のユニットと各種オプションユニットを用意に応じて選択でき、柔軟な試験システムの構築が可能である。高速光トランシーバモジュールやデバイス、バックプレーンなどのBER試験が効率良く行える。

MP1800Aは、6つのユニットが挿入でき、Windows[®](注)XPを使用したGUIとテンキー、ロータリーエンコーダを備え、研究、開発に適している。

MT1810Aは4つのユニットが挿入できる低価格モデルであり、イーサネットを通して専用アプリケーションをインストールした外部PCから制御・検査用途に利用できる。

MP1800シリーズの代表的なアプリケーションとしては下記が考えられる。ファイバーオプティクスEXPO2007では、この中からの展示を予定している。

1) SFP光モジュール測定

MP1800シリーズのBER測定ユニット

は、様々なビットレートに対応したクロック再生機能を有し、XFPやSFP光トランシーバモジュールの測定を容易にしている。

2) OLTアップストリームテスト

FTTHで使われるPONシステムにおいて、OLTデバイスのアップストリームを評価することは課題のひとつであった。MP1800シリーズは、PON専用補助出力やパターン編集ソフトを用いて簡単に測定できる。

3) 40G デバイステスト

MP1800シリーズは4チャンネル同期PPG、EDとして構成し、MUX/DEMUXと組み合わせることで40Gbit/sデバイス測定が可能になる。BERと同時に40Gのジッタ測定も可能である。

(注) Windows は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

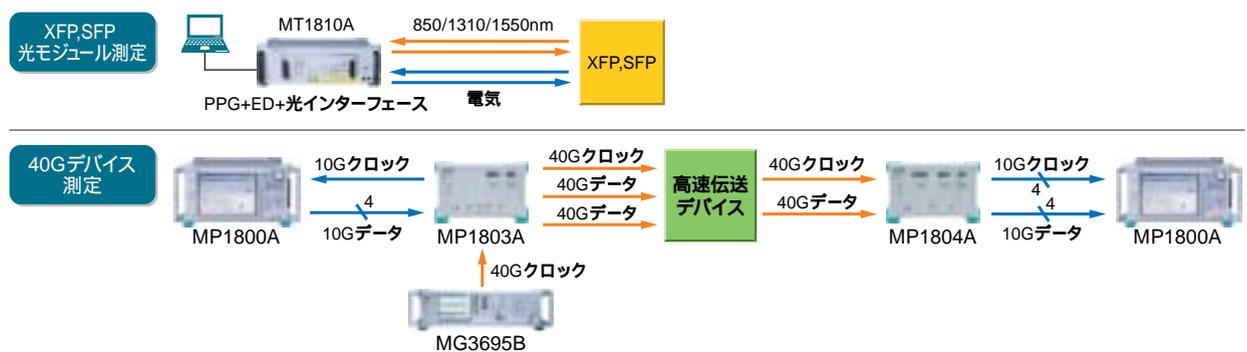
お問い合わせ先

アンリツ株式会社

神奈川県厚木市恩名5-1-1

TEL 0120-827-221(計測サポートセンター)

URL <http://www.anritsu.co.jp>



アプリケーション例